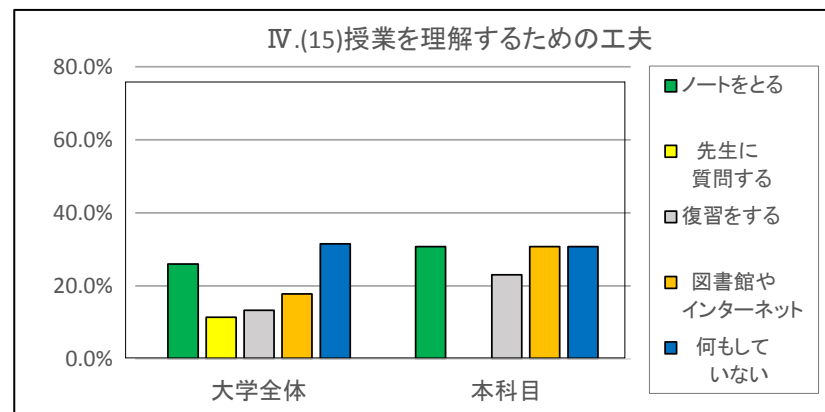


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15)授業を理解するための工夫	30.8%	0.0%	23.1%	30.8%	30.8%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.38	3.45
	I.(2)	3.46	3.56
	I.(3)	3.23	3.07
講義内容・方法	II.(4)	3.00	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.54	3.33
	II.(8)	3.54	3.42
	II.(9)	3.54	3.30
	II.(10)	3.38	3.23
	II.(11)	3.23	3.21
	II.(12)	3.54	3.48
	II.(13)	3.62	3.45
満足度	II.(14)	3.46	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.36	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.42	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.46	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	31105
科目名	漢文学 I
教員名	山田 明広

#### ①授業計画の達成度について

漢文の句形や語法を教えるという観点からすれば、授業計画はほぼ達成できたかと思う。ただ、漢文読解に必要な中国古典(中国文学、中国思想、中国史)に関する知識や歴史的・社会的背景に関しては、多くの学生が介護等実習に参加して授業に出席しておらず、通常授業を行うことができないなどといったこともあり、予定していたもののいくつかは扱うことができなかった。

#### ②授業の進め方について

授業に取り組む姿勢にあまり真剣さが見られない学生が散見されたほか、少し難しい内容のことや、漢文の読解と直接関係ないと学生の目に映る事項の説明をする時などは、内容を聞いておらず、居眠りないし別の科目の課題などを行っている学生もしばしば見られた。これは、中高の国語の教員免許を取得する上で漢文は必修ではあるものの、実際に中高の国語の教員採用試験を受験しようと考えている学生はほぼ皆無であるため、学生全体に漢文は仕方なく受講している、それほど重要な科目ではないといった雰囲気の流れているといったこともあるであろうが、授業の進め方が単調で、説明の仕方もあまり分かりやすくなるよう工夫されていないなど、こちら側にも多々問題があるかと思われる。

#### ③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

講義内容・方法および総合的満足度に関して、本科目の平均が全体の平均を越えているという点は、評価できるかと思う。しかし、上で述べたように、漢文の基本句形の定着度はあまり高くなく、授業に取り組む態度が良くない学生がしばしば見られるなどといった問題も存在する。したがって、今後、漢文の句形を教える際には、小テストを頻繁に行うなどして定着度UPを図ってみたい。また、学生の授業への取り組み態度を良くすべく、説明の仕方を分かりやすく興味を引きやすくなるよう工夫していきたい。